

糸満市地域公共交通会議 平成30年度第1回会議 議事録

【開催日時】:平成30年 8 月 14 日(火)13:30～15:30

【開催場所】:糸満市役所 3-C 会議室

【出席者】:22 名(別紙1 糸満市地域公共交通会議委員 名簿)

報告事項 (1) 糸満市地域観光交通試験運行計画

■いとちゃん mini の運送事業形態について

【西倉委員】計画当初、今年4月から運行するいとちゃん mini (デマンド運行) は、道路運送法における「乗合運送事業 (緑ナンバー)」による運行を予定していたが、今現在「自家用有償旅客運送事業 (白ナンバー)」で運行している。運送事業の許認可者である沖縄総合事務局から、当初の事業形態を変更した経緯のご報告とお詫びを申し上げたい。

糸満市の試験運送事業を委託されている「有限会社美ら島」は貸切バス事業者である。本来、貸切バス事業者には10人以下の車両を用いた「乗合運送事業」は許可できない。しかし、沖縄総合事務局側の認識の間違ひがあり、許可できる事を前提として、糸満市及び運送事業者と調整、手続きを進めていた。

運行直前となる3月、事業許可が出せないことが判明し、急遽、糸満市を運営主体とする「自家用有償旅客運送事業」の申請手続きに切り替え、許可し、現在に至っている。認識の違いにより、関係者へご迷惑をおかけしてしまい、この場をかりてお詫び申し上げる。

なお、現在「有限会社美ら島」は、乗合運送事業者となるための申請手続き中であり、問題がなければ、10月1日から「乗合運送事業者」となる。その場合、10人以下の車両を用いた乗合事業を運行することができる事業者になるため、10月以降、いとちゃん mini は当初計画されていた「乗合運送事業 (緑ナンバー)」として運行されることとなる。

報告事項 (2) 試験運行状況

■利用者の増加要因について

【三宅委員】平成28年度実証実験時と比較して、利用者が増加している要因はなにか。

【事務局】平成27年度及び28年度の実証実験を踏まえ、デマンド型の公共交通が市民に浸透してきた結果と推察される。また、市の広報誌への折り込みチラシや運送事業者が発行する周知カードで積極的に周知活動を行っており、加えて運行開始時には予約センターオペレーターより、前回の利用者への電話周知を実施した。

■広報活動について

【大城会長】観光客への広報状況を教えて頂きたい。

【事務局】リゾートホテルへ利用チラシを設置している。

【島田副会長】告知活動についてももう少し詳しく教えて頂きたい。

【事務局】糸満市 HP の他、広報誌への利用チラシの折り込み、市内商業施設へのポスター設置等で運行情報を市内の各所に掲示している。また、運行開始に先立って、いとちゃん mini の車両に「2018年4月試験運行開始」と大きくステッカーを貼り付け（運行事業者の運行訓練を兼ねて）市内を巡っていた。

■利用向上に向けた取り組みについて

【西倉委員】市民の中には、他の人と乗り合うことに対する抵抗があるため、利用しない方もいるのではないかと。その抵抗感を払拭するための取り組みがあれば教えて頂きたい。

【事務局】利用者が電話予約した時点で、乗合かどうか利用者は分からない。また、特段オペレーターから「乗合となります」等のオペレーションも行っていない。

【西倉委員】収支率向上のためには、乗合率を上げる取り組みが必要と思われる。

【事務局】まずは、予約システムの改善による乗合率向上を目指したいと考えており、現在、システムの設定（バス停間の所要時間等）を見直し、運行効率を向上させるよう取り組んでいる。

【島田副会長】予約方法の割合で、WEB 経由の予約が約10%とのことだが、WEB からの予約数向上に向けた取り組みがあれば教えて頂きたい。

【事務局】現時点で、取り組んでいる事項はない。しかし、事務局としても WEB からの予約数向上は重要と考えているため、今後検討したい。

報告事項（3）糸満市内公共交通一部再編に向けた取り組み

■新たな再編の可能性について

【長濱委員】運行の収支率が厳しいと思われる。10月の再編で市の負担は合理化されると思ったが、実際はそうではない。10月1日以降、より市民が利用するよう取り組んでいくと思うが、今後さらなる再編を考えているのか。とりあえず、試験運行期間はこのままいくのか。

【事務局】試験運行の3年間は、今回の再編内容で進め、試験運行期間の間で、本格運行や再編に向けた検討を進めていきたい。また、市民の要望を12月に実施する市民アンケートで把握したいと考えている。

■観光客利用数向上に向けた取り組みについて

【長濱委員】今回の結果を伺うと、観光ニーズよりも住民ニーズに重点をおいていると感じたが、観光ニーズの取り組みについてどう考えているか。

【事務局】特段、どちらかに比重を置いているわけではないが、事務局としても今後観光客の利用が伸びる取り組みを観光協会と連携した観光プログラムの実施等、検討を進めたいと考えている。

【長濱委員】那覇空港と連携した取り組み等、ぜひ積極的にすすめて頂きたい。

■住民説明会の参加状況について

【慶田委員】住民説明会の参加人数が少ないと思うが、再編に対する住民の理解は得られているのか。参加人数が少ない理由がわかれば教えて頂きたい。

【事務局】7月広報誌や市の電子掲示板、自治会長から区民への案内、区内放送等で呼びかけを実施した上で開催した結果である。参加が少ない理由としては、市民が公共交通を利用する機会が少ないことが理由として考えられる。引き続き、公共交通の取り組みについて市の広報やHPで発信して行きたい。

■ブーゲンビレア号運行状況について

【慶田委員】糸満市では事業者の送迎バスを利用した「ブーゲンビレア号」を運行したと思うが、現在も取り組みはあるのか。また、いとちゃん mini への影響はあるのか。

【事務局】ブーゲンビレア号は現在も運行しており、いとちゃん mini にも影響はあると思う。ブーゲンビレア号では対応できないエリアや利用者をいとちゃん mini でカバーしていきたいと考えている。

【慶田委員】次回の運行状況報告の際、可能であればブーゲンビレア号の利用状況も併記できるように検討していただきたい。

議事（1）再編に伴ういとちゃん mini バス停の変更（案）**■バス停の変更について**

【大城会長】バス停の変更は容易にできるものなのか。市民からの要望を受けた場合、柔軟に対応することができるのか。

【事務局】バス停設置先の承諾が得られれば、設置することができる。但し、全ての要望を受けた場合、乗合効率の低下や市内交通事業者の圧迫に繋がる市内運行事業者の営業へ圧迫することが想定される。今後、バス停追加の明確な基準（既存バス停からの距離や利用需要等）が策定できるかを検討し、次回委員会で報告したい。

■デマンド運行の継続について

【小橋川委員】デマンド交通は路線バスではできない良さがあると思う。今回の再編では、公共交通人口カバー率も向上していることから、ぜひデマンド交通を今後も継続して運行頂けるよう要望したい。

■今回の変更内容について

【慶田委員】住民説明会では、市民から運行時間の変更要望があったようだが、今回は運行時間の変更はせず、バス停変更のみということか。

【事務局】今回の変更はバス停のみである。住民説明会の他にも運行内容の変更について市役所等にも要望が来ているが、今後の試験運行の状況を見て判断したいと考えている。

■今後の検討にあたって

【島田副会長】2015年から実証実験を開始し、検討を進め、試行錯誤を続けてきたからこそ今日がある。この段階で今一度、糸満市が新たな公共交通を推進する根本の考え方を整理する必要があるのではないか。

他の自治体では、市民に対して、移動する権利を確保する「移動権」という権利を条例化しているところもある。高齢化社会の中で、自治体が市民になぜ公共交通サービスを提供するのか、どこまでサービスを実施していくのか、もう一度見直す必要がある。

■本会議での承認事項について

【大城会長】バス停の変更案について、事務局案を承認として宜しいか。

【委員一同】異議なし。



写真：委嘱状交付の様子



写真：会議開催状況

■糸満市地域公共交通会議委員 名簿

		シメイ 氏名	区分	所属	役職	備考	
1	会長	オオシロ 大城	イクロ 郁寛	学識経験者	琉球大学法文学	教授	
2	副会長	シマダ 島田	カツヤ 勝也	学識経験者	沖縄大学地域研究 所	特別研究員	
3		コバガワ 小橋川	トモタカ 共隆	一般乗合旅客自動車運送事業者及び その団体	株式会社琉球バ ス 交通	統計課課長	
4		シロシマ 城島	シゲル 繁	一般乗用旅客自動車運送事業者及び その団体	糸満タクシー合 名 会社	運行管理者	
5		ケイダ 慶田	ヨシハル 佳春	一般乗合旅客自動車運送事業者及び その団体	一般社団法人沖縄 県バス協会	専務理事	
6		ナカサト 仲里	タカシ 隆	一般貸切旅客自動車運送事業者及び その団体	有限会社美ら島	代表取締役	
7		ゲンカ 源河	コウジ 浩次	一般貸切旅客自動車運送事業者及び その団体	結株式会社	代表取締役社	欠席
8		ウエス 上江洲	アラタ 新	一般乗合旅客自動車運送事業者の事 業用自動車の運転者が組織する団体	沖交労・琉球バ ス 組合	執行委員	
9		ヤカヒ 屋嘉比	ヤスヒト 康人	地域代表者	真栄里自治会会	糸満市区長会会 長	
10		タマキ 玉城	ヨシハル 善治	地域代表者	真壁自治会	会長	
11		トクモト 徳元	コウシン 孝進	地域代表者	糸満市老人クラ ブ 連合会代表	糸満市社会福祉 協議会会長	
12		ヤフソ 屋富祖	タミエ 民江	地域代表者	糸満市女性連合	代表	
13		ヤマシロ 山城	ワタル 渉	地域代表者	三和中学校PTA	会長	
14		タマシロ 玉城	イサオ 勲	観光関係者	糸満市観光協会	事務局長	
15	新	ミヤケ 三宅	リュウ 亮	運輸支局	沖縄総合事務局	運輸部企画室 長	
16		ニシクラ 西倉	ヒロシ 浩	運輸支局	沖縄総合事務局	運輸部陸上交 通課長	
17		アラモト 新本	ヨウイチロウ 陽一郎	都道府県警察	沖縄県 糸満警 察署	交通課長	
18		ナガハマ 長濱	タメイチ 為一	地方公共団体	沖縄県 企画部	交通政策課長	
20		キンジョウ 金城	ヤスシ 靖	地方公共団体	糸満市	副市長	
21		トクサト 德里	ヒトシ 仁	地方公共団体・道路管理者	糸満市	建設部長	
22	新	ヤマシロ 山城	ヤスコ 安子	地方公共団体	糸満市	市民健康部長	
23		ウエハラ 上原	ヒトシ 仁	地方公共団体	糸満市	企画開発部長	

事務局		
1	上原 和隆	糸満市企画開発部 政策推進課 課長
2	伊集 親洋	糸満市企画開発部 政策推進課 主幹
3	新垣 祐滋	糸満市企画開発部 政策推進課
4	玉城 喜章	沖縄しまたて協会
5	上間 淳也	沖縄しまたて協会
6	豊里 博輝	沖縄しまたて協会
		計 6 名

傍聴人		
1		
2		
3		
4		
5		
		計 5 名